

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう特A 会津コシ1等米100%」

両沼地方稲作情報 ばか苗対策 令和7年3月10日

発行：福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2113)
" 金山普及所 (電話0241-54-2801)

J A会津よつば 各営農経済センター、(有)カネダイ、(有)猪俣徳一商店、(有)山一米穀店、
会津宮川土地改良区、阿賀川土地改良区、会津坂下町只見川土地改良区



会津坂下農業普及所のHPでは、これまで発行した稲作情報を掲載しております。
その他、様々な情報を発信しておりますので、お気軽にご覧ください。

QRコード

URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36243a/bangehukyu-9.html>

○ばか苗病の防除にご協力をお願いします。

近年、種子生産ほ場周辺で、**ばか苗病が発生**しています。会津坂下農業普及所管内では、県農業総合センター会津地域研究所で水稻の原種が生産されているとともに、湯川村では生産者に供給する種子が生産されています。

ばか苗病の蔓延は種子生産に深刻な影響を及ぼし、ひいては**県内全ての水稻生産者への種子供給に支障が生じます**。以下の点に留意し、適切なばか苗病防除をお願いします。

1 ばか苗病とは

(1) 感染源と感染経路

- ・ **種子伝染性の病害**であり、開花時期に感染したもみや胞子が付着したもみを種子に用いることにより、簡単に発病します。
- ・ 罹病株から、ばか苗病菌の胞子が数100m以上飛散します。
- ・ **種子生産ほ場の周辺500m以内**でイネばか苗病が発生した場合、そのほ場の収穫物は**種子として出荷できなくなります**。
- ・ 会津地域研究所と湯川村の周囲500m以内で水稻栽培をしている生産者は、育苗期の罹病苗及び本田での罹病株の発生に注意してください。



図1 ばか苗病(本田)

(2) 病徴

- ・ 稲体の**黄化と徒長**です(図1)。
- ・ 育苗期から本田での生育中に発生します。
- ・ 罹病苗を移植すると、ほとんどは枯死しますが、一部は生存します。
- ・ 枯死株の葉鞘や節部には、**白色粉状**の病原菌の**胞子が多数付着**しています(図2)。

↓
この胞子が風で飛散し、開花中の穂に付着することで感染します。



図2 枯死株と株元

(写真提供：農業総合センター)

2 ばか苗病防除のポイント

(1) 種子の適切な管理

- ・塩水選を実施してください(注1)。
- ・消毒済み種子を使用、または適切な種子消毒(テクリードCフロアブルやモミガードC・DF等使用)を必ず行ってください(注2)。
- ・健全もみと罹病もみを一緒に浸種すると浸種中に感染します。
- ・種籾の床へのべた置きは避け、伝染源となる稲わら、もみ殻、粉塵等を除去してください。
- ・前年にばか苗病が発生した場合は、あらかじめ育苗箱や育苗器等の洗浄・消毒を実施してください。



図3 ばか苗病(育苗時)

(2) 育苗時の管理

- ・ばか苗は、育苗の中～後期になると葉身が徒長し黄化します(図3)。
- ・発見した場合は、本田への持込を防ぐため、箱ごと廃棄してください。
- ・罹病苗も感染源となるため、土中に埋却する等、適切に処分し、ハウス内に放置しないでください。

3 まとめ

○健全種子の確保が防除の基本になります。

注1△ 塩水選を行いましょ。

特に、県内産以外の種子などを使用される場合は、比重選や消毒されていない場合があるため、購入した種子の状態をよく確認し、塩水選を実施しましょ。

注2△ 種子消毒を行いましょ。

県内でプロクロラズ剤耐性菌が確認されています(図3)。

農薬を使用する場合、耐性菌への対策として、テクリードCフロアブルやモミガードC・DF等を使用しましょ。

温湯消毒の場合、設定温度、浸漬時間等について、基本技術を遵守しましょ。

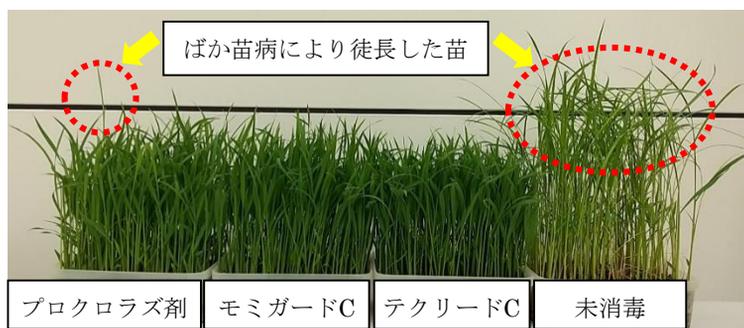


図4 耐性菌接種もみに対する種子消毒薬剤の効果 (写真提供: 農業総合センター)

詳細については、
福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病虫害防除所)の成果を参照。
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

○大雪の影響で、育苗ハウスに損傷がないか確認しましょ。

○農薬はラベル等を確認し、適切に使用してください。

○通水のために水路の土砂上げ、草刈り、ビニールゴミ等の撤去をお願いします。

○農業保険に加入しましょ。

農作業安全
運動実施中!

3/1~5/31

安全な
農作業
を
心掛け
よう!

